

株式会社さじ式拾壺 経営状況報告書

1. 法人の概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 名 称 | 株式会社さじ式拾壺 |
| (2) 目 的 | 過疎化に伴い、農林業をはじめ地場地域産業の従事者の高齢化および、後継者不足が顕在化し、農林地の荒廃、離農などの農林業の衰退傾向が続いている佐治村(現:鳥取市佐治町)で、地域住民の生活を守り、地域産業の振興を具体的なものとするため、行政や地元企業をはじめ多くの方の出資のもと設立。 |
| (3) 設 立 年 月 日 | 平成7年1月30日 |
| (4) 資 本 金 | 金30,000,000円(うち鳥取市出資金16,500,000円) |
| (5) 役 員 | 取締役 7名
監査役 2名
代表取締役 小谷 繁喜 |
| (6) 事 務 所 | 鳥取県鳥取市佐治町加瀬木2519番地3 |

2. 令和7年度経営概要

1. 概要報告

株主と地域住民の期待と信頼に応える為、各事業が計画達成へ努めてまいりました。

今年度の事業結果としましては、収入計画 67,346 千円に対して100,462千円の収入実績（計画比149%）となり、最終的に当期純利益は11,021千円の黒字となりました。

以下各事業の経過を報告いたします。

（1）農林事業

農作業受託・農地維持管理事業部門の赤字経営を改善すべく、維持管理料や中山間地域直接支払制度の活用、事業構成や人員配置の見直しを行うなどの経営の健全化へ向けた取り組みを行いました。米価の高騰なども有り、作業収入7,833千円の計画に対し8,779千円の収入実績（計画比112%）310千円の黒字となりました。

道路管理部門では、作業員確保が大変厳しいなか、常勤職員を中心に受託体制を維持し、市有地管理業務、除雪作業、凍結防止剤散布作業などによって利益を確保することができました。

農林事業全体では、作業収入25,934千円の計画に対し57,262円の収入実績となり計画比 221%となりました。

（2）観光事業

山王谷キャンプ場・たんぼり荘の運営では、台風7号被災の影響による施設機能、周辺環境の修繕も進み、客足も戻りつつありますが、コロナ前・被災前の賑わいを取り戻すまでは至ってはならず、引き続き団体客取り込みの施策、魅力的なプランの作成および広報を強化して参ります。

佐治町B&G海洋センター・佐治町多目的運動広場管理業務では、地域の方々の健康増進や居場所となるような施設運営を心掛け、また中国地方5県54海洋センターで組織される中国ブロック海洋センター連絡協議会の事務局を務める等、B&G財団と連携した事業を積極的に進め事業評価 特Aを取得しました。

特産品部門におけるどぶろく製造では、専従職員を配置し、道の駅での委託販売を中心とした販売を展開し、341本（前年対比77%）販売いたしました。また2024年10月より新たな特産品として自社生産のお米と自社製造の麴を使用した甘酒、塩こうじを開発し、2025年度も継続して販促に努めておりますが、満足な利益確保までは至っておらず、引き続き、効率的な製造とインターネット販売、出張販売などの利益確保の取り組みと併せて、特産品を通じた地域のPRに繋げて参ります。

7月から管理運営業務を受託したさじコスモスの館管理運営事業では、専従職員を配置し、食堂経営の拡充、マルシェや展示会を企画いたしました。また地域の皆様のご要望に応えるべく懇親会などの食事対応、地域の方々や小学生を対象とした体験教室を開催するなど、アストロパークとの連携と並行して地域の方々にとっても親しみやすい施設運営を行うことで、ご好評いただきました。

観光事業全体では、26,338千円の計画に対し27,839千円の収入実績となり計画比106%となりました。

（3）その他事業

買い物福祉サービス支援事業では、トスク全店閉店や移動販売事業者の撤退のなか、年々増加する地域の方々のニーズに対し、きめ細やかな対応を心掛けたことで、大変ご好評頂きました。しかし、部門単独での事業収支では赤字となっており、引き続き、行政や関係各所とも連携をとりながら、事業継続のために人員配置や仕入・販売ルートの見直しなど経営改善にも取り組んで参ります。切手・ゆうパック事業では、梨農家の減少による進物取り扱い数の減少のなか、人員配置の工夫や経費削減を行い事業を実施することで利益を確保しました。

その他、地域に根差した企業の役割として、小中学校における職場体験受け入れなど郷土愛を育む教育への協力を行いました。

その他事業全体では、15,074千円の計画に対し15,361千円の収入実績となり計画比 102%となりました。

貸借対照表

株式会社 さじ貳拾壹

令和 8年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 80,965,022】	【流 動 負 債】	【 10,876,582】
現 金	335,000	買 掛 金	81,792
預 金	72,782,870	未 払 金	5,898,568
売 掛 金	4,179,215	未 払 法 人 税 等	1,440,900
商 品	629,283	預 り 金	717,022
前 払 費 用	52,513	未 払 消 費 税 等	2,738,300
未 収 入 金	3,010,141	負 債 合 計	10,876,582
貸 倒 引 当 金	△24,000		
【固 定 資 産】	【 4,455,235】		
(有 形 固 定 資 産)	(4,045,601)	純 資 産 の 部	
建 物 附 属 設 備	546,660	【株 主 資 本】	【 74,543,675】
機 械 装 置	892,722	資 本 金	30,000,000
車 両 運 搬 具	2,003,794	(利 益 剰 余 金)	(44,543,675)
工 具 器 具 備 品	356,490	そ の 他 利 益 剰 余 金	44,543,675
一 括 償 却 資 産	245,935	繰 越 利 益 剰 余 金	44,543,675
(無 形 固 定 資 産)	(409,634)		
電 話 加 入 権	72,800		
その他の無形固定資産	336,834	純 資 産 合 計	74,543,675
資 産 合 計	85,420,257	負 債 ・ 純 資 産 合 計	85,420,257

損益計算書

株式会社 さじ式拾壹

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	66,441,514	
委 託 料 収 入	18,122,001	84,563,515
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	341,366	
仕 入 高	8,760,398	
* * 合 計 * *	9,101,764	
期 末 棚 卸 高	△629,283	8,472,481
売 上 総 利 益 金 額		76,091,034
【販売費及び一般管理費】		
役 員 報 酬	648,000	
給 与 手 当	35,310,448	
法 定 福 利 費	4,221,550	
福 利 厚 生 費	2,137,627	
外 注 工 賃 費	520,076	
旅 費 交 通 費	120,318	
通 信 費	830,395	
交 際 費	86,386	
減 価 償 却 費	1,923,895	
賃 借 料	590,940	
保 険 料	1,046,462	
修 繕 費	3,020,279	
水 道 光 熱 費	2,719,631	
車 輻 関 係 費	2,606,719	
消 耗 品 費	5,021,805	
租 税 公 課	290,790	
広 告 宣 伝 費	351,275	
支 払 手 数 料	816,835	
諸 会 費	114,415	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	2,000	
リ - ス 料	224,400	
会 議 費	84,221	
雑 費	1,482,439	64,170,906
営 業 利 益 金 額		11,920,128
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	95,391	
補 助 金 収 入	6,044,400	
雑 収 入	1,406,862	7,546,653
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失		1,994,529
経 常 利 益 金 額		17,472,252
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 圧 縮 損		3,000,000
税引前当期純利益金額		14,472,252
法人税、住民税及び事業税		3,451,306
当 期 純 利 益 金 額		11,020,946

第 33 期(令和 8 年度)事業計画(案)

令和 8 年 4 月 1 日から

令和 9 年 3 月 31 日まで

[基本方針]

世界的なエネルギー・食料価格の高騰など、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増しているなか、佐治地域においても、過疎・高齢化をはじめ地域を取り巻く課題は待ったなしの状況です。

株式会社さじ式拾壺は、地域住民の皆様の生活を守るための丁寧かつスピード感のある事業展開に併せまして、急激な社会変革の時代に適応した持続可能な企業であるための強固な経営体質づくりを目指し、役職員一丸となり、地域住民及び株主の皆様の期待と信頼に応えられる事業体制の構築に努めてまいります。

[事業実施方針]

佐治町内を中心とした地域振興及び産業振興事業の推進

1. 農林作業受託事業の推進
2. 関係住民及び団体等からの受託事業
3. 指定管理施設の管理受託事業
4. 公共施設の維持管理受託事業
5. 農林水産物の生産及び販売事業
6. 買い物福祉サービス支援の推進
7. その他各種受託事業の推進

[事業実施計画]

1. 農林事業

農地維持管理業務での中山間地域直接支払制度の活用、業務内容の整理などによる収支改善と人材育成を進める。収益部門である道路管理受託に於いては、年々増加している作業量に対応すべく責任者および作業員の確保・育成が急務であり、必要に応じた設備導入と合わせて進めていくことで、事業拡大を図る。

2. 観光事業

山王谷キャンプ場・たんぼり荘管理運営では、ポータルサイトや SNS を積極的に活用した一般ファミリー層の獲得、小中学校の体験学習や団体顧客の取り込みによる平日の施設稼働率向上を図る。また人材繁忙期の施設管理・体験部門の強化による収益増、利用者の満足度向上と共に、町内団体と連携し佐治町の観光振興に繋げる。

佐治町 B&G 海洋センター・佐治町多目的運動広場管理運営業務では B&G 財団の事業を積極的に活用し、佐治地域の健康増進、スポーツ振興に取り組む。

コスモスの館管理運営業務では、さじアストロパークと連携しマルシェ、体験教室、イベントなどの企画による魅力の発信と、本館稼働に伴う合宿などの団体客誘致、受け入れ体制の整備を進める。

特産品販売部門におけるどぶろく「どんでん返し」の製造・販売では、オンラインショップなどを活用したインターネット販売の強化と、道の駅と連携した販売展開による販売数量増加、姉妹品である甘酒・塩麴などの販売を行うことで認知度向上を図る。

3. その他事業

ゆうパック事業では、梨農家減により進物の集荷個数は減少傾向であるが、人員配置を工夫することで経費を抑え利益の確保を図る。買い物福祉サービスでは、店舗の閉鎖、移動販売業者の撤退などで増加する需要に対応しつつ、業務内容の工夫と効率化によって収支改善を図る。

全事業において、おおむね経営基盤は強化されつつあるが、慢性的な労働力不足が深刻化している。労働力確保・人材育成を最重要課題と位置づけ、優秀な人材の確保に向けた施策を強化し、事業継続・拡大を図る。

[総務管理方針]

1.経営管理の重点事項

(1)財務管理

- ①自己資本の充実を図るため、資金の内部留保と諸引当の完全引当に努める。
- ②在庫品の圧縮と資金回転率の向上。
- ③不採算部門の改善。

(2)経営管理

- ①部門別責任を明確にし部門採算の確立に努める。
- ②経営検討委員会及び取締役担当の3つの部会を定例開催し管理の徹底を図る。
- ③業務、事務の合理化、適正配置、労務率の改善を図る。

(3)人事労務管理

- ①職場内教育体制を整備し、人材育成を推進し、信頼される社員を養成する。
- ②責任権限の明確化、職場規律、職場倫理を確立する。
- ③働きやすい職場環境を整え、会社の生産性向上へ繋げる

2.設備計画

(単位:千円)

施設機械名	台数	取得予定金額	備 考
バックホー	1	1,980	中古
除雪ドーザー	1	13,940	5t、2人乗車

3.自己資本充実計画

(単位:千円)

	前期末実績	本期末計画	備考
資本金	30,000	30,000	
当期純利益金	11,021	87	
繰越利益剰余金	44,544	44,631	
純資産合計	74,544	74,631	

株式会社さじ式拾貳 令和8年度収支計画

1.収入の部

(単位：千円)

項 目		本年計画 (①)	前年計画 (②)	増減 (①-②)	備 考
農 林	農作業・精米機管理	8,105	7,833	272	
	水稻受託	4,988	4,049	939	田植え327a,稲刈7.5ha + 農地維持管理料21.6万
	果樹受託	1,600	1,663	▲ 63	前年並み12件
	水稻経営	1,319	1,922	▲ 603	[R8] 104.3a/[R7]104.3a 米価下落を見込80%で計画
	雑収入	198	198	0	中山間直接支払交付金 実績ベース
	道路管理・森林作業	18,440	16,081	2,359	
	市有地管理	4,640	4,380	260	開発公社、産業建設課、鳥取市 見積提出分
	除雪	13,300	350	12,950	除雪車出動240H、凍結防止剤散布60日
	雑収入	100	11,081	▲ 10,981	除雪機械運転手育成支援事業 大特免許1名
	森林作業	400	270	130	見積提出分
	その他受託	2,945	2,020	925	定例受注現場 + 作業員派遣
農林事業合計		29,490	25,934	3,556	
観 光	たんぼり荘	8,330	7,996	334	
	利用料	3,850	3,516	334	利用者数(R8計画3,000人 / R7計画2,695人)
	指定管理料	4,480	4,480	0	
	BG	14,178	10,980	3,198	
	利用料	450	350	100	[R8計画]10,340人 / [R7計画]13,450人
	指定管理料	13,566	10,380	3,186	
	雑収入	162	250	▲ 88	自販機売上
	特産品	1,100	1,122	▲ 22	
	営業収入	1,100	1,122	▲ 22	どぶろく販売本数（[R8] 420本 / [R7]420本） 甘酒・塩麴などの販売
	コスモスの館	7,255	6,240	1,015	
	委託料	3,255	4,240	▲ 985	
	営業収入	4,000	2,000	2,000	[R 8 計画]食堂1500人（R7計画750人）/宿泊300人(R 7 計画250人)
観光事業合計		30,864	26,338	4,526	
そ の 他	買い物支援	9,369	12,844	▲ 3,475	
	売上	6,000	6,800	▲ 800	見守り件数250件（R7年並み）
	補助金	3,369	6,044	▲ 2,675	R 7 は移動販売車導入補助
	切手・ゆうパック	1,753	1,920	▲ 167	取扱数(R8計画1,080個（R7実績×90%）
	事務受託・その他合計	230	310	▲ 80	
	雑収入	230	310	▲ 80	
その他事業合計		11,352	15,074	▲ 3,722	
総 合 計		71,706	67,346	4,360	

2.支出の部

(単位：千円)

項 目	本年計画 (①)	前年計画 (②)	増減 (①-②)	備 考
役員報酬	624	720	▲ 96	代表取締役、役員（農作業・除雪など出勤分）
給与	27,458	20,917	6,541	職員2名雇用,最低賃金引上げに伴う賃上げ、
賃金	7,123	8,041	▲ 918	R7実績ベース
法定福利費	3,800	3,035	765	社会保険料
福利厚生費	2,223	1,921	302	中退共掛金、大特免許取得1名
租税公課	3,169	3,084	85	消費税ほか
水道光熱費	3,450	2,651	799	電気、水道代、ガス、灯油
旅費交通費	127	54	73	取締役会旅費 BG会議出張旅費
通信費	872	738	134	電話、インターネット、コピー代、切手代
宣伝広告費	114	28	86	チラシ印刷、折込
接待交際費	83	0	83	実績ベース（株主割引など）
会議費	85	100	▲ 15	株主総会費用
損害保険料	1,039	1,052	▲ 13	事業保険・自動車保険・施設来場者保険など R7実績ベース
修繕費	3,632	3,198	434	[R7計画] 農機具点検・修繕費98万、除雪修繕25万、指定 管理施設小規模修繕140万、施設点検60万ほか
消耗品費	1,102	1,640	▲ 538	実績ベース
外注工賃	319	220	99	ヘリ農薬散布、その他事業外注費減
支払手数料	857	722	134	JAライスセンター手数料10万、サイト手数料25万(たんぼ り、特産品)、税理士23万、労務士13万など
車両費	2,403	2,270	133	燃料費（除雪作業量で試算、前年×120%）、車検費用
リース料	153	308	▲ 155	冷凍庫
諸会費	129	119	10	R7年実績＋新規1件
賃借料	344	328	16	JA選果場27,5万、個人トラクター・個人乾燥機借上
雑費	403	1,642	▲ 1,240	ダスキン、ごみ処理費用など（コスモス利用料鳥取市納付分減）
雑損失	300	253	47	除雪作業による修繕（作業量より試算）
減価償却費	2,752	2,353	400	レザコン3万、畦草刈り機5.5万、ハンマーモア22万、軽ト ラ30万、P C 25万、ダンプ63.6万、凍結防止剤散布機12万 ほか
貸倒引当金	13	2	11	R7年並みで計上
法人税等	250	246	4	所得によって変動
仕入	8,796	8,604	192	苗、農薬、食材、買い物支援増分 実績ベース
圧縮損	0	3,000	▲ 3,000	
総 合 計	71,618	67,246	4,373	
収入-支出	87	100	▲ 13	

